



報道関係各位

2018 年 9 月 13 日

三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA 開催のご案内

2018(平成 30)年 10 月 20 日(土)より、「三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA」を開催します。

三沢厚彦(1961～)は、2000 年からゾウやキリンなどの動物をモチーフとした彫刻「ANIMALS(アニマルズ)」シリーズを発表しています。樟(クスノキ)を使い、ほぼ等身大に彫り込み彩色をした木彫は、見るものの記憶やイメージを喚起させ、圧倒的な存在感を放っています。近年ではユニコーンや麒麟など空想上の動物にも挑戦し、生のリアリティを追求しています。

富山県美術館(TAD)には、2016 年の建設段階から制作を依頼し、昨年の開館時より、屋外広場、屋上に恒久設置されている三沢作品があります。立山開山伝説にも触発された作品で、TAD のアイドルとして愛されています。本展では立山をテーマとする新作プロジェクトも加わり、代表作「アニマルズ」の彫刻、絵画、素描等を一堂にご紹介します。

展覧会名	三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA
会 期	2018 年 10 月 20 日(土) ～ 12 月 25 日(火)
展 示 構 成	展示数約120点を予定 ・ 第 1 章 初期作品 ・ 第 2 章 ANIMALS ・ 第 3 章 立山をテーマにした新作 ・ 第 4 章 アニマルハウス*との共同制作作品
主 な 作 品	《Animal 2017-01-B》2017 年 富山県美術館所蔵 《Animal 2009-04B》2009 年 《Animal 2008-02》2008 年 《Cat 2013-03》2013 年 《Animal 2016-01 》2016 年 《春の祭典》2016 年
ポスターデザイン	TSDO Inc.



会 場	富山県美術館 2階展示室 2、3、4
開館時間	9:30 ～ 18:00(入館は 17:30 まで)
休 館 日	水曜日(ただし、11 月 7 日は臨時開館)
料 金	当日券一般:1,300 (1,000)円／大学生:700 (500)円／前売券一般 1,000 円 ※高校生以下無料、()内は 20 名以上の団体料金 ※前売券は 10 月 19 日(金)まで ※チケットぴあ独占先行販売(～10 月 20 日(土)9:29 まで) https://t.pia.jp/pia/event/event.do?eventCd=1836354 ※前売券販売所:富山県美術館、富山県水墨美術館、チケットぴあ(Pコード: 769-281)、アーツナビカウンター(富山県民会館(富山市)、富山県教育文化会館(富 山市)、富山県高岡文化ホール(高岡市)、新川文化ホール(魚津市))
主 催	三沢厚彦展実行委員会(富山県美術館、北日本放送)
後 援	朝日新聞富山総局、北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞、 毎日新聞富山支局、読売新聞北陸支社
協 力	西村画廊、アニマルハウス、山口製材株式会社、小山登美夫ギャラリー、 シュウゴアーツ
展 示 協 力	小田原文化財団
協 賛	富山県民共済、北陸電気工事、三進堂、ホテルグランテラス富山

本資料に関するお問い合わせ 富山県美術館 学芸課:麻生、川上 広報:北澤
TEL 076 - 431 - 2711

※本紙掲載内容は、都合により変更する場合がございます。



本展の特色

①代表作「ANIMALS」の彫刻、絵画、素描等を一堂に紹介。

②立山をテーマとする新作を初披露！

③三沢厚彦 × アニマルハウス* IN TOYAMA！

2017 年秋に開催された「三沢厚彦 アニマルハウス 謎の館」展。渋谷区立松濤美術館を舞台に、三沢さんのアニマルズのもと、舟越桂氏(彫刻家)、小林正人氏(画家)、杉戸洋氏(画家)、浅田政志氏(写真家)が集い、創作活動が展開され、大きな話題になりました。今秋、アニマルハウス IN TOYAMA 版をTADにて公開いたします。

三沢 厚彦 略歴

1961 年京都生まれ。1989 年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。2000 年動物の姿を等身大で彫った木彫「ANIMALS」シリーズを制作開始。同年より西村画廊(東京)で個展開催。2001 年に第 20 回平櫛田中賞を受賞。2002 年初の作品集「三沢厚彦 アニマルズ」(求龍堂)を刊行。2007 年から「三沢厚彦 ANIMALS+」展が平塚市美術館を皮切りに全国 5 会場を巡回。その後も各地の美術館で個展を多数開催し好評を博す。近年の個展に、2013 年に三重県立美術館、浜松市美術館、2014 年 高松市美術館、岩手県立美術館、周南市美術博物館、2015 年 高梁市成羽美術館、釧路市美術館、2016 年 大分市アートプラザ、2017 年 熊本市現代美術館、渋谷区立松濤美術館、2018 年 横須賀美術館など。今最も注目されている木彫作家の一人。近著に 2013 年の作品集『ANIMALS No.3』(求龍堂)、『動物の絵』(青幻舎)。



関連イベント

(1)スペシャルトーク アニマルハウス IN TOYAMA

三沢厚彦(彫刻家)×舟越桂(彫刻家)×小林正人(画家)×杉戸洋(画家)×浅田政志(写真家)

伝説の展覧会「アニマルハウス」の作家たちが集合する！？富山ならではの新作を発表。

日 時 2018年10月20日(土)15:00～(約90分)

会 場 3階ホール／定員120名(当日先着順。当日有効の「三沢厚彦展」観覧券が必要です)

(2)スペシャル対談

スペシャルゲストと三沢さんが「アニマルズ」についてお話しします。

①天童荒太(小説家)

日 時 2018年10月27日(土)14:00～(約90分)

②寺田農(俳優)

日 時 2018年11月10日(土)15:00～(約90分)

③舟越桂(彫刻家)

日 時 2018年12月2日(日)15:00～(約90分)

※いずれも会場は、3階ホール／定員120名(事前申込制〔締切日 ①10月13日(土)、②10月27日(土)、③11月18日(日)〕抽選にて整理券を発行します。参加には当日有効の「三沢厚彦展」観覧券、整理券が必要です)

(3)アーティストトーク 三沢厚彦

日 時 2018年12月25日(火)15:00～(約60分)

集合場所 2階ホワイエ(事前申し込み不要／当日有効の「三沢厚彦展」観覧券が必要です)

(4)公開制作 三沢厚彦×舟越桂「粘土で首像をつくる」

日 時 2018年12月1日(土)15:00～(約60分)

会 場 3階ホール／定員60名(当日先着順／当日有効の「三沢厚彦展」観覧券が必要です)

(5)三沢厚彦によるワークショップ

・大人向け「樟(クスノキ)の板材でレリーフを彫る」

日 時 2018年11月24日(土)、25日(日)10:00～16:00

会 場 3階アトリエ／定員10名(両日参加できる方)

・子ども向け「樟(クスノキ)の端材で動物をつくってみよう」

日 時 2018年12月8日(土)13:30～16:00

会 場 3階アトリエ／定員15組30名

※いずれも事前申込制、先着順。参加には当日有効の「三沢厚彦展」観覧券が必要です。



(6)クリスマス スペシャル サンクス企画

オープン・ラボ 帰ってきた！パッとこっぴで動物をつくろう ～スタンディングアニマルズの世界～

日 時 2018 年 12 月 22 日(土)～12 月 24 日(月) 10:00～16:00

会 場 3 階アトリエ(ラボ) 一度に 20 名程度まで(参加費は無料)

(7)学芸員によるギャラリートーク

日 時 2018 年 11 月 18 日(日)、12 月 15 日(土) 各回 15:00～(約 60 分)

会 場 2 階展示室 2、3、4(当日有効の「三沢厚彦展」観覧券が必要です)

※展示室 2 にお集まりください。(事前申し込み不要)

※三沢厚彦展開催中のイベント等の最新情報は、当館ウェブサイトをご覧ください。内容等は都合により変更する場合があります。

<http://tad-toyama.jp/exhibition-event/category/event>



三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA メディア用提供写真



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA 広報用画像申込書

FAX 076-431-2712 /E-mail: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

■裏面の記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

申込フォーム		
貴媒体名		
貴社名／部署		
ご担当者氏名		E-mail: @
ご住所	〒	
ご連絡先	TEL: FAX:	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日: 年 月 日
記載内容		
データの必要期限	年 月 日まで	

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

■掲載ご希望の画像(□にチェックを入れてください)

広報用画像一覧・掲載時のキャプション			
三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA 作品画像			
☐	①《Animal 2017-01-B》2017 年 ブロンズ、塗料 富山県美術館所蔵 撮影:小杉善和	☐	②《Animal 2016-01》2016 年 樟、油彩 撮影:渡邊郁弘/©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery
☐	③《Animal 2009-04B》2009 年 ブロンズ、塗料、油彩 撮影:内田芳孝/©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery	☐	④《Animal 2008-02》2008 年 樟、油彩 撮影:内田芳孝/©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery
☐	⑤《Cat 2013-03》2013 年 樟、油彩 撮影:岡野圭/©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery	☐	⑥《Animal 2010-01》2010 年 樟、油彩 撮影:永野雅子/©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery
☐	⑦《Animal 2012-01》2012 年 樟、油彩 撮影:渡邊郁弘/©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery	☐	⑧《Animal 2011-07》2011 年 樟、油彩 撮影:内田芳孝/©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery
☐	⑨「三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA」ポスター (Design: TSDO Inc.)	☐	⑩《春の祭典》2016 年 パネル、アクリル、色鉛筆 ©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery



富山県美術館 広報用使用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送(番組)・WEB 等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ 画像は全図で使用してください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画(例: 出版物表紙、広告素材使用は不可)での二次使用はできません。再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正原稿を FAX またはメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録の DVD、CD などを富山県美術館にご提供ください。